

事業番号	11 01 03	事業改善シート（令和7年度実施事業分）	■当初要求	□当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	建設業振興費	部局	建設部	課・室	建設政策課・技術管理室	
		実施期間	S24 ~	E-mail	kensetsu @ pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

建設産業は、インフラの整備や維持管理はもとより、災害復旧や除雪など「地域の守り手」として極めて重要な役割を担っている。建設業就業者は60歳以上が3割を超える一方、29歳以下は1割に満たない状況であり、次世代への技術承継が大きな課題となっている。将来にわたって持続的に発展し、魅力ある産業となるよう取り組むことが求められている。

2 事業目的

建設業を営む者の資質の向上、技術者の技術力向上及び建設工事の請負契約の適正化等を図ることによって、建設工事の適正な施工を確保し、建設業の健全な発達を促進する。
産学官が連携して建設産業の次世代を担う人材の確保・育成を推進し、持続可能な建設産業の基盤を整備する。
長野県DX戦略「スマートハイランド推進プログラム」に則り、県と市町村の入札参加資格審査事務のDXの取組を実施する。

3 事業目的を達成するための取組

- ①建設業法等に関する業務の適切な運用
- 建設業許可及び経営事項審査に関するデータ管理等の電算処理業務を委託
 - 建設工事の請負契約に関する紛争について専門家による迅速かつ簡便な解決を図るため、長野県建設工事紛争審査会を運営
 - 建設工事及び建設業の実態を明らかにするため、建設工事統計調査等を実施
 - 県と市町村の建設工事等入札参加資格審査に係る共通業務の集約化・デジタル化
- ②建設産業の担い手の確保・育成と建設工事等の品質確保
- 建設産業の次世代を担う人材の確保・育成を推進するため、産・学・官が連携して建設系学科高校生等を対象とした学びのフィールドの提供、資格取得の支援を実施
 - 建設産業の将来を担う人材を確保するため、大学生に向けた資格取得支援を行いつつ建設企業の若手社員との交流機会を設け、県内建設企業への就職を促進
 - 小学生等を対象とする現場見学会を開催し、土木の魅力を発信
 - 【拡】建設産業のリアルが体感できるイベントの開催やメディアでの情報発信により建設産業の魅力を発信する事業を実施
 - 建設産業の生産性向上を図るため、中小建設関連企業を対象とするBIM/CIMのハンズオン講習会を開催
 - 技術者の意欲と技術力を高め、建設業からの離職を防止するため、県の発注した建設工事及び建設工事に係る委託業務において、その成績や取組が特に優れている技術者を表彰
 - 【拡】職員や企業を対象に先端技術等の講習会や見学会を実施
- ③建設工事等入札参加資格審査業務の効率化
- 建設工事等入札参加資格審査申請を電子化するとともに、受付窓口を県・市町村共同の窓口とすることで、自治体及び事業者の業務を省力化

4 成果指標

(推移の凡例 ↗:改善 ↘:悪化 →:変化なし -:数値なし)

No.	指標名	単位	R4年度		R5年度		R6年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込	推移				
①	指標なし										
②	土木・建築系学科高校生の建設産業への就職割合	%	75	67	↘	70	↗	70		建設産業の次世代を担う人材の確保・育成を推進するため、建設系学科高校生等を対象とした学びのフィールドの提供、資格取得支援による成果として、建設産業への就職割合を設定（建設系学科の生徒が、近年大学へ進学する割合が高まっている背景を加味し、R7目標値を設定）	
③	事業者の電子申請率	%	-	-	-	95	-	95		少額工事受注希望者のほか、実施後間もないため電子的なトラブルの発生を見込んで目標設定	

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標（☆印は主要目標）	単位	直近3か年/年度分の状況				目標	
				年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値
2-3①	地域の建設業等における担い手の確保の推進								

6 事業コスト

(単位:千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)			
R7年度	予算案	2月上旬公表予定		0			33.5
	要求	110,821		110,821	49,689		
R6年度	0	70,433	0	70,433	25,918		33.5
R5年度	0	31,145	0	31,145	3,501	29,045	33.5

事業名	建設業振興費	部局	建設部	課・室	建設政策課・技術管理室
-----	--------	----	-----	-----	-------------

細事業 No.	細事業名	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算
1	建設業振興費	31,145 千円	70,433 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 110,821 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	建設業情報管理電算処理業務	委託	建設業許可及び経営事項審査に関するデータの管理等の電算処理業務を（一財）建設業情報管理センターに委託し、建設業許可及び経営事項審査の申請等の際に、センターが運営する「建設業情報管理システム」を利用し、審査等の業務を実施 想定件数：建設業許可申請数 2,054者 経営事項審査申請数 2,599者	
2	建設工事等入札参加資格審査業務	直接委託	建設工事等入札参加資格審査申請に係る県と市町村の共同窓口の運営（電子申請・審査システムの運営、審査事務の集約） 共同受付参加市町村数 34団体、共同受付審査件数（見込） 7,500件	
3	建設産業の次世代を担う人づくり推進事業	直接	産・学・官の連携による「建設技術実践プロジェクト事業」及び「建設関係資格取得支援事業」を実施し、キャリア教育に必要な専門性を補完するとともに、建設産業への理解を深め、就業意欲の向上を図る 実践プロジェクト 5校 資格取得支援事業 9回	
4	持続可能な建設産業創造事業費	直接委託	小学生とその保護者を対象とする、土木施設等を巡り建設産業への理解を深める現場見学会の開催。 大学生を対象とした資格取得支援を行いつつ建設企業との交流機会を設け、県内建設企業への就職を促進する。 【拡】建設産業のリアルが体感できるイベントの開催やメディアでの情報発信により建設産業の魅力を発信する事業を実施 現場見学会 2回 資格取得支援 全16回	
5	建設DX推進事業費	直接委託	中小建設関連企業を対象としたBIM/CIMのハンズオン講習会の開催、職員等を対象とする講習会の開催 【拡】県内で実施されている工事のうち、先進的な技術を用いた工事を事例として、県職員や県内建設企業を対象とした見学会を実施し、技術の活用を全县に波及させる。 ハンズオン講習会 3回 職員向け講習会 3回 見学会 1回	
6	優良技術者表彰制度事業	直接	県の発注した建設工事及び建設工事にかかる委託業務において、その成績や取組が得に優れている技術者を表彰 優良技術者表彰 1回	